宿品 TOPICS

天王洲アイルの公共空間で社会実験イベント「TENNOZ PLACE」を開催

令和5年度 国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」の社会実験事業に採択された、(一社)エリアマネジメントTENNOZと品川区で構成されている「水とみどりの天王洲エリアプラットフォーム」によって、プレイスメイキングを目的とした社会実験を春、夏、秋と開催いたしました。

物販エリア、水辺テーブルスポーツエリア、飲食エリア、縁日エリア等ゾーン分けし、来場者数は約5,000人となりました。

来年度は「TENNOZ PLACE」を実行委員形式にし、「みんなで楽しい場所を創っていく」をできたらと思っています。

(天王洲リテールマネジメント(株)松岡久美子)



宿場JAPAN活動報告

新型コロナウイルス感染症の影響が終息し、外国人旅行者の本格的な増加に伴い、ゲストハウス品川宿では従来の宿泊水準まで旅行者が戻りました。宿泊サービスに加え、地域の課題(お困りごと)解決に焦点を当てた旅行会社「宿場トラベル」を2022年に立ち上げ、品川区各課や品川宿のまちづくり協議会を構成する町会や自治会と多様な交流をサポートさせて頂きました。

デフサッカー日本代表合宿(スポーツツーリズム)、モンゴル高専との科学技術交流、姉妹都市ジュネーブの交換留学生のおもてなし。これらの活動に加え、秋のしながわ運河祭りでの花火観覧席及び屋形船の販売協力、北品川本通り商店会との多言語情報発信事業、歴史と「食」を融合させた品川飯メニューの開発など、地域文化サービスの販促など商業の支援も行っています。来訪者に向けた持続可能でユニークな体験を地域の皆さんとともに引き続き提供し続けていきます。

(宿場JAPAN 渡邊崇志)



第10回記念　品川蕪品評会in品川神社

品川蕪は江戸東京野菜の一つで、江戸時代から人々の食生活を支えてきました。品川宿で青果店を営むマルダイ大塚さんが、その品川蕪の復活と子どもたちの食育、地域の交流などを目指し2012年より開催しています。

記念すべき10回目品評会は12月24日(日)開催。NPO東海道品川宿なすびの会が主催する品評会では、品川区内の保育園、幼稚園、小学校をはじめ多くの参加者が育てた自慢の品川蕪が並び、品川蕪の収穫を祝い、品川蕪を楽しく食すお祭りです。さぁ、今回のトロフィーは誰の頭上に輝くでしょう?!

(和田富士子)



復活「わいわいばんごはん」

まちづくり協議会の和田さんに、娘が「わいわいやらないの?」と言ったのが春先でした。今年の酷暑を考慮して10月を目指しました。以前から、わいわいに差し入れをいただいていた本照寺住職のご好意で開催が決まりました。まだ暑さの残る9月、友人の本道さんを誘い、和田さんと打ち合わせを始めました。以前からご協力いただいていた皆様には引き続きお世話になっています。

10月19日木曜日、復活の一回目を開催しました。同窓会のようなかたちで、懐かしい話に花を咲かせ、和やかにすすみました。始めた頃の小学生が大人になっていました。

2回目の11月16日木曜日、現在の小中学生にも広がったらしく、こどもだけの参加が増えました。〜ご近所さんで、おっきな家族!〜をモットーにコレからも続けていきたいです。

(竹岡　夕美子)



ジュネーブとの交流

令和5年8月1日(公財)国際友好協会の青少年ホームステイの「品川寺デー」に、青物横丁商店街(振)、(株)宿場ジャパンとともに協力をしました。ジュネーブからホームステイで長期滞在している青少年に、品川とジュネーブの交流のきっかけである品川寺の梵鐘や、友好の花時計(品川シーサイド)をご紹介しました。さらに、品川宿ツアーとして、新馬場がむしゃらさんでのランチ、まち歩き、屋形船体験をコーディネート、最後にサプライズで、天王洲ジブリ展の入場チケットをプレゼントしました!参加したみなさんはとても喜んでくれました!品川宿エリアの地域資源をフル活用したツアーとなりました。ご協力いただいた関係団体の皆様、ありがとうございました!

(竹中茂雄)



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく!
どんな提案もオッケー、どなたでもウェルカム、
すべてオープンです。
品川宿では今日もどこかで
何だか楽しそうなことが動いています。
お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 月例運営委員会　毎月最終火曜日20時〜(年末など変更あり)
   場所:品川宿交流館　どなたでも見学、参加、提案オッケーです!
2. 広報活動(会報「みこしだこ」、「品川宿かわら版」の発行、HP・FB運用など)
3. 品川宿交流館、南品川櫻河岸 まちなか観光案内所の運営
   (来宿者へのおもてなし、地域交流、活動・イベント受入など)
4. サポート事業(区内学校支援、伝統文化実演、ホッケー、サッカースクールなど)
5. 地域事業の主催・共催・協力(しながわ宿場まつり、しながわ運河まつり、品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会、品川宿史談会、灯篭プロジェクト、品川宿ハロウィンなど他多数)
6. 応援プロジェクト(ゲストハウス品川宿、ドキュメント、わいわい晩ごはんなど多数)

◎年会費／団体・法人 30,000円　個人 10,000円

一度遊びにいらしてください。ご連絡お待ちしています!
品川区北品川2-28-19　品川宿交流館
電話 03-3472-4772　FAX 03-3472-4770　メール machikyo@west.cts.ne.jp

HPは
こちら

発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

東海道品川宿

宿品 会報みこしだこ

2024年 新春版
2023年12月18日発行 第61号

謹賀新年

今年は品川宿飛躍の年に！





皆さまにおかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年末までコロナやインフルエンザが流行していたものの、それでもコロナ収束の兆しが見えたことで、荏原神社・品川神社の例大祭を皮切りに、しながわ宿場まつりや水辺の観光フェスタ等、様々なイベントが通常通り開催されるようになりました。自粛期間が明けたことにより、これまでの期間を取り戻すかのようにどの御祭禮もイベントも大変な人出で賑わいました。やっと4年ぶりに品川宿の日常が戻ってきたと大変嬉しく思っております。

一昨年の10月に大井ホッケー競技場で開催されたホッケーマスターズワールドカップで、選手を含めた外国人観光客に文化体験（座禅・茶道・和菓子作り・品川蒔絵等）や黒湯温泉、屋形船、ローカルな飲食等でのおもてなしなどを実施しました。そこで得たノウハウやヒントを活かし、文化体験メニューもさらに充実して現在も行われています。

また昨年のしながわ宿場まつりの土曜に、初めての試みとして来日外国人もターゲットに見据え行われた「宿場ナイト」にも多くの外国人が来宿し喜んでくださいました。北品川本通り商店会では、外国人向けのホームページや飲食店40軒以上のメニューの外国語化を目指す等、近隣ホテルの外国人宿泊客の隙間時間を見据えた誘致にも力を入れ始めています。

10月には東海道シンポジウム2023川崎宿に参加し、川崎宿をはじめ各宿場の皆様より大きな刺激をいただいてまいりました。東海道沿線の各信用金庫様の多大なるご協力をいただき、御宿場印が東海道五十三次 日本橋から京都三条までつながり、間もなく大津宿から大坂までの東海道五十七宿も繋がる予定です。旅行事業者を交えスローに巡る東海道ツアーを考えては?の声も出始めています。このように品川宿だけでなく、すでに東海道各宿も御宿場印を含め様々動き始めています。

さあ!今年はまちの賑わいや活性化のために皆さんの地元ではどんなことから始めますか?

今年はそれを一つでも多く花開かせ飛躍する年にしたいと思います。本年も変わらず皆様のご理解・ご協力を心からお願いをし、新年の挨拶とさせていただきます。

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
会長　堀江 新三

交流事業

川崎宿起立400年に際して

2023年は、川崎が1623年に幕府より御朱印をいただいてから400年に当たり、『川崎宿起立400年プロジェクト』と称して、たくさんのイベントが行われました。

4月22日（土）に「川崎宿場まつり」が起立400年のキックオフとして開催され、10月1日（日）には、「東海道かわさき宿交流館10周年記念」のお祝いと共に、まちなみ検討委員会が準備してきた東海道沿いの「中間灯点灯式」が行われ、東海道沿いの街道の臨場感が高まりました。また、10月7日(土)には「川崎宿スタンプラリー」、10月21日(土)に「東海道シンポジウム川崎宿大会」が、翌日22日には「六郷の渡しまつり」も催され、たくさんの人を集めました。また、「大師道御朱印めぐり」や「川崎宿ひねもす川崎スタンプラリー」、「川崎宿-1623～2023」（交流館）、「あれもこれも東海道展」（川崎浮世絵ギャラリー）など様々が企画展も開催されました。



ご参加くださった皆様、ありがとうございました。これからも川崎宿は東海道を盛り上げていきたいと思いますので、ぜひ遊びにいらしてください。

（あらたに葉子）

\東海道シンポジウム2023川崎宿/



2023年10月21日（土）13:00より東海道シンポジウム2023川崎宿がカルッツかわさきホールにて開催されました。開会式・「旅路の像」引継ぎ・堀口茉純 氏による基調講演「川崎宿と江戸の女たち」と行われ、休憩をはさんでパネルディスカッション「むすび つながる 東海道のまちづくり」と題し、品川宿・丸子宿・枚方宿・川崎宿から代表者が登壇。品川宿は「むすび つながることは大切!」と題しこれまでのまちづくり協議会の活動、新旧住民・世代を超えた人と人とのむすびつながりについて話しました。他宿は時代を越えての伝統や家系のつながり、古い建物を利用し、周辺の立地とつながったまちおこし等、様々な切り口のむすびつながりが発表され、大変有意義なシンポジウムとなりました。

川崎宿の皆様、これまでのご準備、そして温かいおもてなしを本当にありがとうございました。次回の東海道シンポジウムは2024年11月9日（土）～10日（日）31番目の宿場 新居宿（静岡県湖西市）にて行われる予定。各宿場の皆様またお会いしましょう!

◎



私は過去6回シンポジウムに参加していますが、回を重ねるごとに若い方の参加が増えていると感じます。とても嬉しいです。特に今回同時開催された「六郷の渡しまつり」では、よくこれだけの企画を組まれたなと。私も同じ「まちづくり」という立ち位置で活動しているからこそ、より一層川崎のみなさんの気合が伝わってきました。どれもが主役級のイベント。それらを同時開催するということは、より多く対話と時間を積み重ねてこられたことと思います。かつての「助郷制度」じゃないですが、まさにそんな宿場力を感じました。

「むすびつながる」と銘打たれた川崎大会。人と地域が道でつながり、そして確実に世代がつながり動き出していることを感じた大会でした。私にとっては嬉しくとても刺激的な時間でした。　（大越章光）

◎東海道沿道観光協会連絡会が発足しました!

川崎宿のシンポジウムにあわせて、第一回東海道沿道観光協会連絡会が開催されました。

日本橋から京都までつながる「御宿場印プロジェクト」をきっかけとして、東海道沿道の観光協会の方々に声を掛け、堀江会長の想いである「東海道を、次世代につなぐ」ことを大きな目標とした連絡会が発足しました。今回起点の日本橋（中央区観光協会）や港区観光協会・しながわ観光協会・品川宿・大田観光協会、神奈川県内の各宿、静岡県 丸子宿、遠くは亀山宿観光協会からもご出席いただき、それぞれの取り組みなど「東海道愛」溢れる情報交換が活発に行われました!大変前向きで今後が楽しみになる会議となりました。

（とろろ汁の丁子屋　十四代目　柴山広行）



蒲原西小学校修学旅行

10月25日東海道蒲原宿の蒲原西小学校の生徒24名と教師4名が修学旅行で品川宿にやって来ました。品川神社、荏原神社の案内と共に宿場の景観を守るための電線の地中化や街道松等協議会や町の人々の取り組みを披露して1時間程の街歩き。聖跡公園では、協議会メンバーら品川の20名程が出迎え、生徒達が研究発表「蒲原の町」をプレゼン。2015年草津市の草津宿街道交流館が実施した「東海道TDK総選挙」にて、1位二川、2位枚方、3位草津に続き5位蒲原が選出された。2016年蒲原西小学校の修学旅行の訪問場所のひとつとして生徒が8位の品川宿を希望したのが始まりで、毎年品川宿を訪れています（2年前のコロナ禍時はWebカメラで遠隔交流）。

生徒達はこの後品川水族館を経由して、東京タワーで名産品の桜エビやイワシの削り節を配りながら蒲原の町をPR。聖跡公園でのPRがリハーサルにもなって、東京タワーでは大きな声が出せましたとお礼のメールが届きました。

（伊東　進）



三保松原「松の苗木」贈呈セレモニー

令和5年11月19日（日）静岡県の蒲原宿場まつりに合わせて「三保松原「松の苗木」贈呈セレモニー」が行われました。式典には、発起人である東海道町民生活歴史館の志田館主、静岡市の難波市長、品川区の桑村副区長、渡辺議長、守口市の西端市長、そして、まちづくり協議会の堀江会長が出席しました。

お祭りでは、品川宿に修学旅行で訪れた蒲原西小学校の子どもたちが、一生懸命に史跡のガイドや手伝いをして活躍していました。地域・学校をあげての素晴らしい取り組みだと感心しました。これからも、東海道や街道松のご縁を大切にして、各宿場のみなさんと交流の輪をひろげていきたいと思います!　（竹中茂雄）



まち並み整備プロジェクト

景観アドバイザー事業

令和5年度は品川区景観担当係長が出村剛氏から中川仁氏に代わりました。

景観アドバイザーにも新メンバーとして吉本真也さんが加わり、新体制にて諸々課題へ取組中です。大きな課題の一つは「旧東海道品川宿地区街なみ環境整備事業補助金」いわゆる景観助成金を積極的に活用頂けてはいない現状です。旧東海道および北馬場、南馬場通り・ジュネーブ平和通り沿道の建物において行われる、外観変更工事を対象に品川宿らしい魅力を一層高めて頂く事を後押しする制度です。この制度への周知と理解を図るべく、11月初旬に品川区景観担当から東海道沿道各戸へ、情報提供のパンフレットが再配布されました。

（伊與久なつむ）



品川駅南地区再開発について

品川駅南地区の未来を創る推進協議会のメンバーであり、品川宿周辺まちづくり協議会のメンバーであることから推進協議会の活動をお知らせしてきました。結果、推進協の下部機関である地域別の個々の活動は知らされてきておりません。したがってこの語の記事は、推進協の事務局にヒアリングして報告しています。しかし推進協議会は、現在開発地域に決めている品川浦北地域、西地域、東地域に再開発協議会を分け、令和5年10月に3地域の再開発協議会を結成完了し、次の段階で3地域の都市計画事業の計画作成、都市計画決定への作業に入る段階に来ており、3地域のそれぞれ事業のコンサルタント会社の指名に移ることにしております。更に今後、3地域の再開発から東海道旧宿場町の再開発及びタウンマネージングを進めるべく構想を練っております。今年7月旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会に話し合いを求めてきた様ですが、双方の意見の違いから今後の話し合い（私はこの会談には双方から出席を要請されていませんので双方からの事後ヒアリング報告です）の確認で終わったとの事です。今後の話し合いで妥協点が見つかるかどうかという所です。双方の意見は全く接点が無く、互いにまちづくりの思想の点で接点がない状況です。　（新実正義）

しながわっこプロジェクト

第13回品川宿小学校東海道駅伝マラソン大会

11月26日日曜日「第13回品川宿小学校東海道駅伝マラソン大会」が開催されました。当日は予報に反して冷たい雨模様。朝6時に集合した運営スタッフも予想外の雨対策に大忙しとなりました。路面の雨水をこまめに吸い取るなどスタッフの努力が実り、なんとか予定から15分押しの9時30分にマラソン大会からスタート。続いて4年、5年、6年と駅伝。多くの保護者や地域スタッフが見守る中、子供たちが元気に東海道を走り抜けていきました。マラソン、4年、5年と城南第二が優勝し、6年は品川学園が優勝という結果となりました。当日の生配信の模様はYoutube「しながわなぎさ」でアーカイブされていますので、是非ご覧になってください!

（井上明裕）



城南小学校「東海道歴史探訪」

6月17日土曜日、城南小学校ババの会主催による「東海道歴史探訪」が開催されました。このイベントは6年生を対象とし、市民科授業として行われるものです。第一回は2013年に開催され、以降コロナによる中止もなく、今回で7回目の開催となりました。子供たちを10人ほどのグループに分け、土蔵相模や聖蹟公園など品川宿の歴史的ポイントを巡って歩きます。ご参加頂いたまちづくり協議会メンバーは、今回も案内人としてまち歩きをしながら、子供たちに歴史を伝えていきました。当日は汗ばむほどの晴天。午前中一杯のコミュニケーション、お手伝いいただいた皆さま、本当にお疲れ様でした。　（井上明裕）



水辺プロジェクト

しながわ水辺の観光フェスタ

コロナ後初の通常開催 本年は4年ぶりに各会場で通常開催となりました。コロナ等で数年間中断されていたコミュニティの繋がりを再構築しながら通常開催のために準備を行いました。おかげ様で各会場ともたくさんのお客様にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。心配されていた感染拡大についても、運営側では念入りな準備と対策はもちろんのこと、何よりもお客様ひとりひとりが手洗い消毒、ゴミの持ち帰りなどにご協力いただき、無事に開催を終えることができました。

しながわ水辺の観光フェスタでは、元々ある地域の力をお借りしながら、さらに魅力的な観光資源の創出に繋がるように今後とも楽しい企画を考えて参ります最後になりましたが、ご協力いただいた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

（小日向亮輔）




© Tatsua Akitomi Photography

◆秋の運河花火まつり

10月7日、8日に「秋の運河花火まつり」が開催されました。恒例となりました運河まつりの花火は、観覧席から打ち上げ場所が近いため、非常に近くで臨場感満点の迫力ある花火が見られることが自慢です。当日は、会場となる東品川海上公園には、沢山の観覧客が訪れ、約8000発の色とりどりの美しい花火を楽しまれました。

おかげさまで年々、花火の観覧客は増えており、非常にありがたいことですが、反面、沢山の来場者に安全に観覧していただくための対策も必要となっています。今後も、安全に鑑賞していただけるように努めてまいりますので、皆様にも鑑賞の際のルール順守にご協力いただけますようにお願いいたします。（なぎさの会 山田貴美）

◆しながわ水辺の観光フェスタ～スポーツフェスティバル～

令和5年10月6日（金）7日（土）8日（日）しながわ水辺の観光フェスタ～スポーツフェスティバル～を開催しました。「はじめてでも楽しめるスポーツ体験」をコンセプトに、青空familyフィットネス（品川区エアロビック連盟）、ブラインドサッカー®（日本ブラインドサッカー協会）、フットサル（しながわシティフットサルクラブ）、FC東京親子サッカークリニック、ラグビー（JR東日本レールウェイズ）、ホッケー（フリークス東京）、チア（品川CC RainbowVenus）、フラッグフットボール（品川CC ブルザイズ）の体験教室を実施しました！品川区内で活躍するトップレベルの選手、指導者たちが、地元の子どもたちや親御さんと交流する素晴らしい機会となりました！（竹中茂雄）





◆東海道品川橋

東海道と目黒川のクロスポイント「品川橋」を会場として、11月6日（金）は夕刻から花火の時間帯に、地元小学生が制作した灯篭が目黒川沿い（福栄会裏手）の夜道を照らす灯篭ロードを開催。ゆらゆらと幻想的な色、柄とりどり300個近い灯篭に、多くの人々が足を止め眺め、水辺の観光フェスタの風物詩になっています。翌日7日（土）は品川橋の上で、カフェ、マルシェ、街道文庫の古本市、ワークショップなどが出店して<しながわ橋テラス>を開催。マルシェではママさんたちの手作り小物販売やヨーヨーつりなど、たくさんの方々が立ち寄ってくれました。これからも東海道と水辺が交わる品川橋を盛り上げて行きたいと思います！（和田富士子）

しながわ花海道カナルフェス（勝島）

今年も快晴で、周遊船もEボートも待っていましたと大盛況に終わったカナルフェス。今回はカナルフェス&ハロウィンと題しスタッフも仮装。初の試みのモンスター探しとピニャータも大人気。仮装した可愛い子供たちが走りまわって景品を渡す係も大忙し。ピニャータとは、メキシコのお祭りで使われるお菓子を詰めたくす玉人形のことで、これを目隠しして子供たちが棒でたたいて割るのだが、初めて見るイベントに子供たちも大変の盛り上がりを見せていた！フェイスペイントやバルーンアートも変わらずの人気コンテンツ。もつ煮込みや唐揚げなどのグルメやビールもイベントには欠かせない。大人も子供も笑顔があふれる最高の一日になった。来年も乞うご期待！（土屋智佳子）



特別事業

通称「旧交番」　国登録有形文化財

2022年4月に南品川櫻河岸 まちなか観光案内所としてリニューアルオープンした「旧交番」。昭和 4 年(1929年)に竣工した旧交番は、100年近く、東海道と目黒川の交差点に佇み、品川宿の人の往来を見てきたことでしょう。長らく櫻心会町会が倉庫として活用しながら大事に保存してきたおかげで、現在、南品川櫻河岸 まちなか観光案内所に生まれ変わり、2023年8月7日に国登録有形文化財となりました。

この歴史的価値のある旧交番は、水運の歴史から始まり、現在では水辺を活かした観光拠点として、品川宿の歴史、文化を次世代へと繋ぐ新たなランドマークとして、地元で盛り上げていきましょう！　（和田富士子）



品川宿交流館では、ただ今、昭和の懐かしい写真展を開催中

展示写真は、品川宿周辺の全6小学校の卒業アルバム（1975年、76年、77年卒）を中心に構成しています。この年の卒業生は、東京オリンピック前後に生まれて、日本の高度経済成長の真っ只中に子ども時代を過ごした、まさに典型的な昭和の子どもたちです。

この経済成長右肩上がりの時代はまた、都市に人口が集中し、公害や交通事故なども増大し、多くの社会問題が発生した苦難の時代でもありました。この激動の時代をたくましく生き、現在60歳代になろうとしている品川宿の子どもたちは、さてどんな夢を抱いていたのでしょうか。展示では当時の時代背景を含め、子どもたち一人一人の夢についてもご紹介しています。どうぞお誘いあわせてお出かけください！

【会場】品川宿交流館（入場無料）
【期間】2023 年 11 月 1 日～ 2024 年 3 月末
【展示協力】品川学園　城南小学校　城南第二小学校　浅間台小学校
　　御殿山小学校　台場小学校
【主催】品川区
【企画制作】旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会



品川宿史談会の報告

史談会講演会は6月の予定であったが、講師がコロナに披患、体調不良が続き、延期。以後、異常な気象を避け、9月24日第17回講演会開催。「本陣と門前町茶屋の諍い文書から考える、観音前・釜屋と青物横様々」講演者：街道文庫主宰・田中義己。釜屋については多々言い伝えがあるが、文献・地域遺産などからの研究が無かった。それに挑んだ田中氏の研究成果の発表の場を提供しようと史談会で取り上げ、多数の聴衆に参加いただいたが、その半数の方が南品川の方々というのもこの会の歴史になった。次回は2月18日(日)の予定。講演：渡辺憲司・立教大名誉教授、立教高校・自由学園高校長を歴任。氏は吉原の著名な研究者。江戸中期の古文書「新版色道大鏡」著者。深川・品川宿の岡場所比較論の研究などの論文がある。

（新実正義）



◆しながわホッケー地域応援プロジェクト

しながわホッケー地域応援プロジェクト（共催品川区）の構成団体として、活動に参画しています。令和5年度も、東京ヴェルディ女子ホッケーチームやフリークス東京のホームゲーム応援、ホッケー日本代表の国際試合やパブリックビューイングイベントなどを実施してきました。

パリ五輪出場権をかけた最終予選が、1月13日からはじまります！ホッケー日本代表をみんなで応援しましょう！



◆スポーツ庁「スポまち!長官表彰2023」

オリンピック東京2020大会ホッケー競技が品川区で行われるとこが決定したことを受け、品川区や各種団体が協力して、しながわホッケーファンゾーンとしてホッケー競技応援が始まり、本年よりしながわホッケー地域応援プロジェクトとして続いていましたが、この度26自治体のうちの1つとしてスポーツ庁『スポまち!長官表彰2023』に選ばれ、室伏長官より表彰を受けました。

◆品川区が第1期認定分の公式ホッケータウンに認定されました!

ここ数年、品川区や当まちづくり協議会をはじめ、各種団体とホッケー競技を盛り上げてきましたが、その甲斐あって、（公社）日本ホッケー協会による第1期認定分の公式ホッケータウン19都市のうちの1つに認定されました。

宿品 TOPICS

＼品川宿界隈の日常が戻って来ましたね／

6月に荏原神社・品川神社例大祭が例年通り執り行われたことを皮切りに、キャナルフェス等 天王洲地区でのイベント、ホッケー関連応援イベント、水辺の観光フェスタ、しながわ宿場まつりのような大きなイベント以外にも、品川宿界隈では様々なイベントが戻って来ました。

夏には各地区で盆踊りが、そして秋には品川宿ハロウィン、11月には品海公園や周辺にて、第48回 ちびっこ祭り（北品川本通り商店会）& 第5回 親子で防災訓練（北品川一丁目町会）が合同で開催され、どのイベントも多くの参加者で大賑わいでした。

令和6年も年明けから、神社仏閣の初詣や東海七福神巡りで内外から多くの方々が来宿されていることでしょう。これまでいつもは見慣れてあたり前だった品川宿の日常の景色や活気が、やっと戻ってきたことを大変嬉しく思います。

第30回　しながわ宿場まつり

2023年9月16日（土）・17日（日）に、4年ぶりにしながわ宿場まつりが開催されました。17日（日）は、東海道八ツ山口よりしながわ宿場まつり交通安全パレード・江戸風俗行列が行われ沿道は多くの来場者で大変賑わいました。今年の1日警察署長はフリーアナウンサーの刈川くるみさん。オープンカーに乗車してパレードに参加し沿道からの声援に応えていました。また、品川区 森澤区長は江戸風俗行列の先頭を茶屋娘おしなちゃんに扮して歩き、沿道の大勢の観客等から声をかけられていました。

品川寺にて火渡り荒行も行われ境内は超満員。江戸風俗行列終了後、参加者たちは思い思いに会場エリア内をスタート地点に向かってそぞろ歩き、観客の写真撮影依頼や記念写真に応じ、大人気でした。

また、前日16日（土）のおいらん道中は実行委員会側の警備の関係もあり中止となりましたが、北馬場参道商店街ではたくさんの露店、また聖蹟公園ではステージや多くの露店が立ち並び、どちらも大変賑わった他、夕刻から北品川本通り商店会にて宿場ナイトも開催され、夜まで賑っていました。来年こそはフルバージョンで開催できると良いですね。

（大越章光）



◆宿場ナイト



花魁の中止を受け、北品川本通り商店会では土曜日を盛り上げる初めての試みとして、近隣ホテルに宿泊する外国人もターゲットに見据え『宿場ナイト』を開催しました。この試みに今回商店会内の15店舗が協力し参加。目印の紅白提灯を店先に下げて、店前には緋毛氈の縁台を設置。夕方になると江戸町民（品川宿庶民）や花魁に扮した方々や浴衣姿の方々が出没し、縁台に腰掛け一杯やっている。来場者は一緒に記念写真を撮るもよし、縁台にて一緒に乾杯をするもよし、といった ゆる〜い イベントでしたが、日本人はもちろんのこと、多くの外国人が来宿し楽しんでくださいました。

おかげさまで、参加されたどの店先も店内大賑わい。来場者からは「江戸装束を着て参加するにはどうしたらよいか?」「今後は募集をかけるのか?」「費用がかかるのであれば払ってでも参加したい」との多くの質問や嬉しいお言葉もいただきました。また、中には一緒に記念写真を撮って外国人からチップをいただいた扮装参加者も。

地元や参加店からも概ね好評をいただき、単独開催をしても良いのではとの声もいただいていることから、来年度はしながわ宿場まつり以外での開催も検討していければと考えています。

今後も品川宿の入口の商店会として近隣ホテルと繋がりながら、宿泊する外国人もターゲットに飲食店メニューの外国語化・ホームページの多言語化と並行して行っていかれたらと思っております。

（大越章光）

◆

◆宿場まつりからの脱出

毎年9月に開催されているしながわ宿場まつりで、宿場町を舞台にした体験型「謎解きゲーム」を、品川区内発の謎解き制作集団Caletteが制作しました。「謎解き」とは参加者自身がある物語の主人公として、謎や暗号を『閃き』で解き明かして進めていくものです。この謎解きで、参加者に品川宿の歴史を詳しく知ってほしい、品川をもっと盛り上げたいという思いで5月から制作しました。

まちづくり協議会の皆さんや、宿場まつり実行委員会の皆さん、そして様々なお店の皆さんの協力で、このコンテンツを制作することができました。また来年の宿場まつりでも、機会があれば運河まつりなどのお祭りの謎解きも制作したいと思っています。（Neon　城二小・東海中出身、都立産業技術高専在学中）



台場小学校5年　歴史探訪&目黒川クルーズ実施

10月24日（火）、台場小学校で「歩いて乗って　品川探訪」がありました。しながわ観光協会様の企画・運営のもと、5年生56名が12グループに分かれて、ガイドの方々の説明を受けながら、品川神社、品川宿まち歩き、水辺歩き、目黒川クルーズ、東品川海上公園桟橋のツアーを楽しみました。歴史・文化・自然に関わる学びを通して、今まで知らなかった旧東海道を中心とした地域の魅力を再発見することができました。この体験を通して実感した「わがまちの良さ」をポスターにして、商店街の街頭灯（和風の行灯）に展示していただく予定です。今後、女性、子供、高齢者及び障害者を含めだれもが「住み続けられるまちづくりを」（SDGs No.11）を目指して、子どもたちが主体的に地域に関わってくれたらと願っています。

（台場小学校校長　中嶋英雄）

◎

令和5年10月24日（火）秋晴れの中、しながわ観光協会は、品川区内屋形船事業者とボランティアガイドの会と連携し、探求学習型ツアー『しながわ×観光×探求』地域を知ろう〜しながわ宝探しの旅!を品川区立台場小学校5年生向けに行った。旧東海道の宿場町の独自の歴史や文化を体験後、品川浦〜目黒川を平船に乗り水辺観光を楽しむことで、子ども達自身で地域の魅力と課題を捉え、それに対する取組や解決策を自分事として考えることができるツアーを実現した。当日はガイドの声に熱心に耳を傾け、船のツアーでは初めての体験に心躍らせる様子が見受けられた。



同協会は、これからも持続可能な観光を推進し、子ども達を対象に地域の環境・文化・経済を学べるツアー造成と実施に取り組みたいと考えている。

（しながわ観光協会　大嶋秋佐）

北浜こども冒険ひろば

北浜こども冒険ひろばは、2023年の秋から毎週火曜日と水曜日に「聖蹟公園であそぼう」と題して、品川宿本陣跡である聖蹟公園にて、こども冒険ひろばを開催しています。

幼児親子から小学生を中心にたくさんの子どもたちが、水遊びや砂遊び、工作や絵本、けん玉やコマ回し、ダンボールを積み上げたり、おいかけっこなど、広い公園でのびのびと遊んでいます。また、児童センター・保育園とも隣接しているのでいつも賑やかです。

もちろん他の曜日はこれまで通り目黒川沿いの北浜公園で開催しているので、木工作とか落とし穴とかロープで遊ぶなら北浜だなと、子どもたちはそれぞれの魅力を語っています。

こども冒険ひろばは、世代を越えたふれあいの場でもあります。子どもたちは地域の大勢の方々に気にかけてもらい、支えられて育っています。ぜひ大人だけでもお越しください。温かく見守っていただけたら幸いです。

（こども冒険ひろば　栩秋太洋）



品川宿ハロウィン

10月28日、4年振りにハロウィンイベント「品川宿ハロウィン」を開催しました。

この3年間で新たに品川に住まいを構えているご家族、子供たちにとっても自分達の住む街の商店街を知ってもらうきっかけ作りも目的のひとつとし、子供たちが楽しめるハロウィンイベントを復活させたいと想いで企画しました。

今回は原点に返り、品川宿の商店街での開催（ゴールを本照寺）とし、3つの商店会や各店舗の方に御協力をいただき、子供たち・保護者合わせて300人ほどの参加者数で、怪我もなく無事に終えることができました。

当日は仮装した子供たちがまちを歩いているのがとても可愛く、また多くのファミリーがそろって仮装していたので家族一緒に楽しめたイベントになったと感じました。また来年も楽しみにしてますとの声を多くいただけたので、今後も恒例の街のイベントのひとつとして根付いていけたらと思います。

（zakka+café La capi）



デフ（ろう者）サッカー応援

7月29日（土）デフサッカー日本代表の公開トレーニングマッチが、天王洲公園にて行われました。試合の運営は、品川区や品川CCのみなさんによって行われましたが、代表チームの強化合宿を（株）宿場ジャパンのメンバーとともにサポートしました。

代表監督である植松さんが、品川区の出身（浜川小・鈴ヶ森中）ということで、これまでもさまざまなかたちで交流し応援てきました。9月23日から行われていたデフサッカーワールドカップでは、見事準優勝という快挙を達成しました!

2025年、東京でデフリンピックが開催されます! 引き続き、共生社会づくりをともに盛り上げていきたいと思います! がんばれ植松ジャパン!

（竹中茂雄）



音楽イベント“人と音と麦”を

今年7月22日、長福山本照寺さんにて、音楽イベント“人と音と麦”を初めて開催させていただきました長谷川です。

人と麦と音は、自分自身が音楽イベントが好きということもあり是非、在勤在住の町の品川で、子供や大人国籍関係などなく、音楽を楽しんでもらいながら、お酒を飲んだり、くつろいでもらうイベントがやりたいと思い、今回のイベントを企画いたしました。

将来的に「品川埠頭やホッケー場を使って音楽フェスをしたい」ということを目標に、来年以降も来訪者や町の方達にも楽しんでいただけるようなイベントを作っていきたいと思っておりますので応援をよろしくお願いします。

（人と麦と音　長谷川）



SUP（非動力船）体験実施

11月14日（土）東品川海上公園の船着場「安全航行に関する交流会」を品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会とともに開催しました。今後の桟橋の活用、安全ルール策定に向けて、なぎさの会、勝島運河倶楽部、事業者、品川区も含めた水辺の関係者がSUPの体験や屋形船からの見え方を確認する体験交流会を行いました。

参加者からは、「動力船、非動力船の相互の視点が確認でき有意義だった。」という意見をいただきました。東品川海上公園の船着場の活用について、今後も関係団体と協力をしながら「水辺の文化」を盛り上げていきたいと思います!

